

会 議 録

会 議 名	2026 年第 1 回東浦町中央図書館協議会	
開 催 日 時	2026 年 6 月 23 日(火) 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 大会議室	
出 席 者	委員等	成田幸治氏、真山恵氏、座光寺美砂子氏、百武雅子氏、小田薫氏、柏木由里子氏
	事務局 (学び支援課、 株式会社図書 館流通センタ ー)	原田ふくし文化部長、筒香学び支援課長、植田生涯学習係長、 平野主事、大西館長、平松副館長、石神サブチーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 2025 年度事業報告について (資料 1) (公開) 2 2026 年度事業計画について (資料 2) (公開)	
傍 聴 者 の 数	0 名	
審 議 内 容	◆事務局 傍聴について報告する。 委員の任期と資料確認を行う。 会議の成立について報告する。 次第に従って会を進める。 ◆ふくし文化部長(挨拶) ◇委員長 (挨拶) 協議会委員と事務局の自己紹介を行う。 2026・2027 年度東浦町中央図書館協議会正副委員長の選出 委員長 成田幸治氏、副委員長 真山恵氏に依頼する。 〈異議なし〉 ◇委員長 (挨拶) ◇副委員長 (挨拶) 以降は委員長が議事を取り回す。 ◇委員長 次第に従い議事を進める。議事(1)「2025 年度事業報告について」を議題として、事務局からの説明を求める。	

◆事務局

資料1に基づき、議事(1)2025年度事業報告について説明する。

◇委員長

事業報告について、委員の質疑を募る。

◇委員

利用者アンケートにおける「図書館の居心地」の設問において「大変良い・良い」の回答率が97%とあるが、どのような理由が考えられるか。

◆事務局

今回のアンケート回答者は高齢者層が多く、昔ながらの静謐な図書館を好む利用者が多い傾向にあることが一因と考えられる。しかしながら、図書館の課題として従来の利用者だけでなく、新しい利用者の獲得が必要であると考えている。「大変良い・良い」の回答率80%をキープしながら、様々な利用者にとって居心地の良い図書館となるよう、ゾーニングを進めていく。

◇委員

町外利用登録者の内訳をみると、知多地域全域の登録がある。登録者の特徴はあるか。

◆事務局

新刊本の利用のしやすさや居心地、蔵書の内容など、それぞれの図書館の利点を活用して、近隣市町の図書館を複数館利用していると推測する。
また、車での来館のしやすさもあると思われる。

◇委員

知多管内の図書館では、小学生を対象に図書館カードを配布する事例がある。東浦町ではどのような取り組みを行っているか。

◆事務局

図書館見学で希望のあった学校には図書館カードを作成し配布している。他自治体では小学校入学とともに利用登録するところもある。当館でも実施は可能かと思われるが、学校との連携が不可欠であるため、ぜひ校長会などの機会に共有いただきたい。

◇委員

館内のゾーニングについて問う。ティーンズコーナーを設置して利用状況はいかがであるか。

◆事務局

テスト期間に休憩や食事のためによく利用されている。テスト期間外でも日常的な利用が見受けられるが、本の貸出にはあまりつながっていない。今後はデッドスペースになっているカウンターの内側を整備し、有効活用

	できるようにするなど、さらなる改良を行っていく。 ◇委員 中高生の貸出が以前より課題となっていたので、ティーンズコーナーの設置によって図書の利用につながることを期待したい。 ◇委員長 議事(1)について締め切り、議事(2)「2026 年度事業計画」について事務局へ説明を求める。 ◆事務局 資料2に基づき、議事(2)「2026 年度事業計画」について図書館長から説明。 ◇委員長 事務局の報告を受けて、委員の質疑を募る。 ◇委員 図書館開館 35 周年を迎え、様々な記念行事が展開されることを期待したい。 ◇委員 開館から 35 年を迎えているが、他の新しい図書館と比べてもゾーニングなどよく考えられている。 入口すぐの展示も目にとまりやすく、普段手に取らない本を読むきっかけになる。展示に力を入れており、評価できる。 また、読書感想文は夏休みに本を読むきっかけになる。世の中の流れとして感想文は縮小傾向にあるが、継続して本を読む機会を作っていただきたい。図書館でも講座や展示で、読書感想文を盛り上げていくことに期待したい。読書感想文の作品集はあるのか。 ◆事務局 2022 年から作品集を紙媒体から電子媒体に移行し、電子図書館に掲載している。図書館ではおすすめの本や読書感想文の課題図書の展示を行っている。感想文を通して原稿用紙の使い方や日本語を学ぶことにつながるので、読書感想文については継続して、奨励していきたいと考えている。 ◇委員 広報とともに配布されたよむらびんは、図書館のことを知ってもらえるよい広報媒体だと思う。図書館を知らない町民へのアピールになるのではないか。 ◆事務局 よむらびんは全戸配布であり、図書館に興味のある方だけでなく、広い範囲に情報が行き届くので毎年継続していく。
--	---

◇委員

中高生の利用について伺いたい。

◆事務局

傾向として小学校中学年頃までは保護者と一緒に来館するが、高学年からは利用が減少する。生活の変化もあるが、中高生の利用になかなかつながっていないのが実状である。

◇委員

中高生の中にも本好きな子はいるので、ティーンズコーナーに期待している。

自分の子どもが通う学校では、先生のおすすめ本紹介があり、子どもに好評だった。誰かに紹介される本というのは、子どもの読書意欲につながると思う。読書感想文よりもハードルの低い「本を紹介する」という催しがあればよいのではないか。

◆事務局

職場体験の中で、短い文章で本の紹介を書くポップの作成体験をしている。ポップと一緒に紹介本を展示しているが、同世代が紹介している本ということで、中高生にもよく見てもらえている。

◇委員

ビブリオバトルの開催を検討してはどうか。

◆事務局

ビブリオバトルを実施している自治体もあり、とても良い取り組みではあるが、参加者が集まらないことが多いため、難しい。しかしながら、読書活動につながる新しい試みはしていきたいと思っている。

◇委員

於大公園でおはなし会を行っているか。

◆事務局

2025 年は 10 月 25 日に実施予定だったが、雨天で中止になった。今年度も秋頃の開催を予定している。また、定例のおはなし会でも気候が良い日には、図書館前の石田公園でおはなし会を行っている。

◇委員

於大公園のこのはな館で読み聞かせを行ってみてはどうか。図書館の利用登録を併せてできれば今後の図書館利用につながると思う。

◆事務局

図書館も外に出て、図書館に来館しない人にも図書館をアピールできる活動がしたいと考えている。検討する。

◇委員

子育て世代への取り組みについて伺いたい。子どもに何を読んでいいかわからない方向けに行っていることはあるか。

◆事務局

東浦町ではブックスタート事業を行っている。4か月健診で読み聞かせをし、絵本とおすすめの絵本リストを渡している。1歳6か月にも1冊、絵本を渡している。

また、児童向けの図書館だよりを作成し、児童関連の施設に配布している。レファレンスという形でスタッフが本の相談を受付することもできる。

◇委員

保護者向けのリストがあるのは良いと思う。電子図書館のおすすめリストがあるとありがたい。

◆事務局

「読書のすすめ」として定期的に新一年生向け、3・4年生向け、高学年向けのリストを発行している。幼児向けや電子図書館のおすすめリストについては検討する。

◇委員

学校と図書館の連携が必要である。電子図書館だけでなく、ランキングを印刷したものがあれば、学校で掲示して活用できるのではないか。ご検討いただきたい。

◇委員

学校では読書タイムがあるのか。

◇委員

学校によっては実施していない学校もあるのではないだろうか。読書タイムがあることで、本を読む率が上がる可能性がある。

◇委員長

議事(2)の質疑を締め切り、「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

「その他」は特にないことを報告する。

◇委員長

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣言。

◆事務局

事務連絡を行う。

	【事務連絡】 第2回中央図書館協議会は3月に予定していることを連絡。 挨拶を行い、会議の終了を宣言する。
--	---